

教 科	工 業	科 目	繊維・染色技術	単位数	2 単位（4 単位の内）
学 科	繊維デザイン科	学 年	3 学年	コース	繊維コース
学習目標	繊維製品の製造技術と染色技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を培う。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	<p>〈染色技術〉</p> <p>第1章 色彩と人間生活</p> <p>1 色彩と生活</p> <p>2 カラーリングと染色加工</p> <p>第2章 色彩の科学</p> <p>1 光と色の見え方</p> <p>2 J I Sによる色の呼称方法</p> <p>3 三属性による色の表示方法</p> <p>4 測色による色の表示方法</p> <p>5 色彩管理</p> <p>第4章 染色の基礎化学</p> <p>1 炭素化合物</p> <p>2 染色の物理化学</p> <p>3 染色助剤の化学</p> <p>第5章 染色加工</p> <p>1 染色用水と廃水</p> <p>第7章 プリント技術</p> <p>1 なせん</p> <p>第8章 工芸染色</p> <p>1 工芸染色の分類</p> <p>2 型染</p> <p>3 手描き友禅</p> <p>4 ろうけつ染</p> <p>5 絞り染</p> <p>6 印染</p> <p>7 天然染料による染色</p>		<p>・人間生活における色彩の役割を理解している。【B・D】</p> <p>・染色技法の発達を理解している。【A・D】</p> <p>・色と光の波長の関係や色が生じる理由などを科学的に理解している。【D】</p> <p>・色相・明度・彩度の色の三属性を基にした表色系を理解している。【D】</p> <p>・減法混色と加法混色の違いを理解している。【C・D】</p> <p>・繊維や染料などの有機物質の多くは炭素化合物でできていること及び染色という現象は化学反応であることを理解している。【A・B・D】</p> <p>・硬度成分による染色への影響と硬水の軟化法、及び廃水処理の方法について理解している。【B・D】</p> <p>・なせんには『直接なせん』と『防染』と『抜染』があり、それぞれの原理を理解している。【A・B・D】</p> <p>・世界的にも優れた技術と伝統のある工芸染色について理解している。【A・B・D】</p>		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】思考・判断・表現 【C】技能 【D】知識・理解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	新版カラーリング技術（実教出版）				
備 考	この科目は2～3学年で学習する。2名の指導者により分野ごとに分け、指導する。 繊維・染色技術は繊維デザイン科コース科目であり、繊維コース対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。